

さんぽ保健師コラム

(2021 年 如月号)



はいたい！産業保健専門職（保健師）の千葉です。

立春を迎えて、日本一早い沖縄の桜も満開です。今年の桜の花びらはピンク色が濃く色鮮やかで、自然と目に入る機会も多いような気がします。沖縄の四季、一足早い春の訪れを感じますね。

さて、先月の1月27日（水）当センター主催「治療と仕事の両立支援 Web セミナー～多様性を生きる私たちの働き方～」開催しました！

第1部は、「沖縄県内の支援機関の取組」としてアンビシャスの照喜名通センター長と、若年性認知症支援コーディネーターの安次富さんにそれぞれ発表して頂きました。お二人のそれぞれのお話から、様々な関係者・関係機関と連携を図るときには、お互いが顔の見える関係を構築していくことの大切さを再確認しました。

「沖縄県内の企業の取組」として株式会社沖縄ダイケンの新崎経営企画課長からの発表では、職場の健康づくりや安全な職場を作るための取組が両立支援の基本と話し、健康経営に積極的に取り組んでいました。企業での具体的な取り組みが参考になったとの声も多く聴かれました。

第2部は「LGBT・性の多様性」をテーマに、レインボーハートプロジェクト okinawa 代表の竹内さんに登壇して頂きました。LGBT・性的少数者は自殺念慮の割合が高いことが指摘されています。正しい知識を持つこと、人は皆違いがあって当たり前であることをお互いに理解する姿勢が「命を守ること」に繋がることを伝えてくださいました。

参加者からも多くの感想を頂きましたのでいくつかご紹介します。

「企業の実際の取り組みや、若年性認知症、難病、LGBTについて詳しく学ぶことができた。多様性を取り入れた企業としての取り組みを行っていききたい。」

「弊社でも取り組みを考えていたので、多方面からの事例が聞けて大変参考になりました。」「とても良いセミナーでした。このようにオンライン開催のおかげでワークライフバランスの充実につながります。ありがとうございました。」

皆さまたくさんのご感想ありがとうございます。誰もが働きやすい社会・職場を作るためには「お互いの個性を尊重し、正しい知識を身につけること」が基本となります。

今回のセミナーが参加された皆様それぞれの取り組みのヒントとなれば幸いです。

そして！両立支援 Web セミナーの見逃しアーカイブ映像を配信します！

<https://www.okinawas.johas.go.jp/video/index.cgi>

第2部「LGBT・性の多様性」講演は、2月12日～2月19日（金）17時までの期間限定配信ですのでお早めにご視聴ください！

（沖縄産業保健総合支援センター 産業保健専門職 千葉 千尋）